

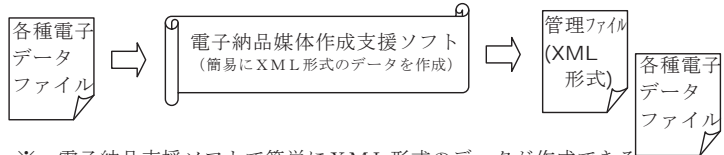
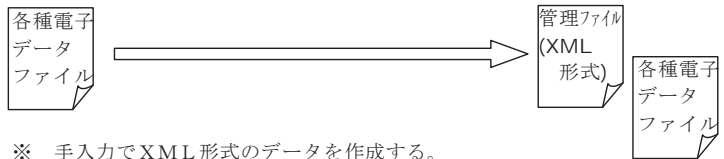
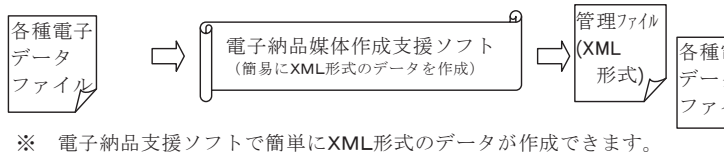
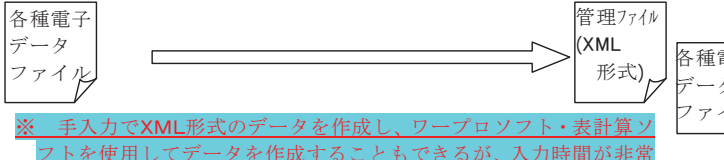
デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
<p style="text-align: center;">デジタル写真管理情報基準</p> <p>1 フォルダ構成</p> <p>工事写真の原本を電子媒体で提出する場合のフォルダ構成は、図1-1のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ PHOT フォルダの直下に「PIC」及び「DRA」のフォルダを置き、写真管理ファイル（PHOTO.XML）も電子媒体の直下に格納する。 ➢ 「PIC」とは、撮影した写真ファイルを格納するサブフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを格納するサブファイルを示す。 ➢ 参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。 ➢ 参考図がない場合は、「DRA」サブフォルダは作成しなくてよい。 ➢ フォルダ名は半角英大文字とする。 ➢ 写真フォルダ（PIC）及び参考図フォルダ（DRA）直下に直接ファイルを保存し、サブフォルダは作成しない。 <div data-bbox="219 782 963 1268" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p style="text-align: center;">図1-1 フォルダ構成</p>	<p style="text-align: center;">デジタル写真管理情報基準</p> <p>1 適用</p> <p>デジタル写真管理情報基準は、広島市水道局（以下、「本局」という。）の発注する水道施設の新設、改良工事等及び業務委託において、受注者が本局に電子納品する工事記録写真及び現地等の写真の原本を電子媒体で提出する属性情報等の基準を定めたものである。</p> <p>2 フォルダ構成</p> <p>工事記録写真及び現地等の写真の原本を電子媒体で提出するフォルダ構成は、図1-1のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ PHOTフォルダの直下に「PIC」及び「DRA」のフォルダを置き、写真管理ファイル（PHOTO.XML、PHOTO05.DTD）も電子媒体の直下に格納する。 ➢ 「PIC」とは、撮影した写真ファイルを格納するサブフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを格納するサブファイルを示す。 ➢ 参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。 ➢ 参考図がない場合は、「DRA」サブフォルダは作成しなくてよい。 ➢ フォルダ名は半角英大文字とする。 ➢ 写真フォルダ（PIC）及び参考図フォルダ（DRA）直下に直接ファイルを保存し、サブフォルダは作成しない。 <div data-bbox="1019 805 1825 1372" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p style="text-align: center;">図1-1 フォルダ構成</p>	<p>適用の追記</p> <p>表現の修正</p> <p>脱字の修正</p> <p>脱字の修正 写真管理ファイル（DTD）の追記</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
<p>2 ファイル形式</p> <p>ファイル形式は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 工事管理ファイル、写真管理ファイルのファイル形式はXML形式（XML1.0に準拠）とする。 ➤ 写真ファイルの記録形式はJPEGとし、圧縮率、撮影モードは監督員と協議の上決定する。 ➤ 参考図ファイルの記録形式はJPEGもしくはTIFF（G4）とし、JPEGの圧縮率、撮影モードは監督員と協議の上決定する。TIFF（G4）は図面が判読できる程度の解像度（文字や図面の細かさに応じて120～300dpi程度）とする。 ➤ 写真管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合はXSLに準じる。 <p>3 ファイル命名規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。 ➤ ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 ➤ 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とする。 ➤ 写真管理ファイルの命名規則は下記のとおり。 <div data-bbox="159 798 936 957"> <p style="text-align: center;">P nnnnnnn . JPG</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 参考図ファイルの命名規則 <div data-bbox="159 1021 936 1181"> <p style="text-align: center;">D nnnnnnn . x x x</p> </div>	<p>3 ファイル形式</p> <p>ファイル形式は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 写真管理ファイルのファイル形式はXML形式（XML1.0に準拠）とする。 ➤ 写真ファイルの記録形式はJPEGとし、圧縮率、撮影モードは監督員（調査職員）と協議のうえ決定する。 ➤ 参考図ファイルの記録形式はJPEGもしくはTIFFとし、JPEGの圧縮率、撮影モードは監督員（調査職員）と協議のうえ決定する。TIFFは図面が判読できる程度の解像度（文字や図面の細かさに応じて300～400dpi程度）とする。 ➤ 写真管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSLに準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、管理ファイルと同じ場所に格納する。 <p>4 ファイル命名規則</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。 ➤ ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 ➤ 写真管理ファイルは「PHOTO.XML」とする。 ➤ 写真管理ファイルの命名規則は下記のとおり。 <div data-bbox="1010 829 1653 1029"> <p style="text-align: center;">P nnnnnnn . JPG</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 参考図ファイルの命名規則 <div data-bbox="1010 1101 1727 1284"> <p style="text-align: center;">D nnnnnnn . JPG 又は . TIF</p> </div>	<p>表現の統一</p> <p>表現の統一</p> <p>表現の統一</p> <p>表現の修正</p> <p>表現の修正</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
<p>4 成果品の管理項目</p> <p>(1) 管理ファイルの作成方法 管理ファイル（XML形式のデータ）の作成は、以下の2つのいずれかによる。</p> <p>○ 電子納品支援ソフトを使用して作成する場合</p>  <p>※ 電子納品支援ソフトで簡単にXML形式のデータが作成できる。</p> <p>○ ワープロ・表計算ソフトのエディタを使用して手作業で作成する場合</p>  <p>※ 手入力でXML形式のデータを作成する。 (入力間違いや入力時間が非常にかかり、非効率な作業となる)</p>	<p>5 成果品の管理項目</p> <p>(1) 管理ファイルの作成方法 管理ファイル（XML形式のデータ）の作成は、以下の2つのいずれかによる。</p> <p>○ 電子納品支援ソフトを使用して作成する場合</p>  <p>※ 電子納品支援ソフトで簡単にXML形式のデータが作成できます。</p> <p>○ ワープロ・表計算ソフトのエディタを使用して手作業で作成する場合</p>  <p>※ 手入力でXML形式のデータを作成し、ワープロソフト・表計算ソフトを使用してデータを作成することもできるが、入力時間が非常にかかり、非効率な作業となる恐れがある。</p>	<p>表現の修正</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行		見直し		変更内容					
<p>(2) 工事管理項目 電子媒体に格納する工事管理ファイル (INDEX_C.XML) に記入する工事管理項目は下表に示すとおりである。</p> <p>表 4-1 工事管理項目</p>		=削除=		「工事・業務委託の電子納品の手引」へ統合					
項目例	記入内容	記入例	概要	データ表現	文字数	記入者	必要度		
発注年度	工事の発注年度を記入	2004	工事の発注年度を西暦で記入する。	半角数字	4	□	◎		
工事番号 (管理番号)	設計番号を記入	143601010201	設計書の左上に表示されている番号 (13桁) を記入	同上	127	□	◎		
路線水系名等	CORINSの「路線・水系名等」に従って記入	※	空欄	全角文字 半角英数字	64	■	○		
工事名称	CORINSの「工事件名」に従って記入	○〇配水施設新設 工事	契約図書に記載されている正式の工事名称を記入	同上	127	■	◎		
工事分野	CORINSの「工事の分野」に従って記入	上水・工業用水		同上	16	■	◎		
工事業種	CORINSの「工事の種類」を記入	土木一式工事		同上	16	■	◎		
工種	CORINSの「工種、工法、形式」の工種を記入 (複数記入可)	上水・工業用水道 工事		同上	64	■	◎		
工法形式	CORINSの「工種、工法、形式」の工法、形式を記入 (複数記入可)	送配水施設工		同上	64	■	◎		
住所コード	代表地点又は、施工場所の開始及び終了場所のコードをCORINSコード表より選択し記入	04101	CORINSコード表の「市区町村名」に対応した数字 (5桁) を記入 (複数記入可)	半角数字	5	■	◎		
住所 (施工場所)	代表地点又は、施工場所の開始及び終了場所を詳細に記入 (住所コードに対応、複数記入可)	広島県広島市中区 基町	必ず「広島県」を記入し、契約図書の工事場所を記入	全角文字 半角英数字	64	■	◎		
工期開始日	CORINSの「工期」に従って記入	2004-12-01	月または日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入	半角英数字	10	■	◎		
工期終了日	CORINSの「工期」に従って記入	2005-03-10	月または日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入	同上	10	■	◎		
工事内容	工事概要及び主工種とその数量を記入	配水管100φEFLDXT 300m	工事内容を記入	全角文字 半角英数字	127	□	◎		
起点側測点-n	(自) n+m nを4桁で記入	※	工事対象となる起点側測点及び終点側測点を測点番号 (n) 及び測点からの距離 (m) の組み合わせで記入する。 ※空欄	半角英数字	4	□	○		
起点側測点-m	(自) n+m mを4桁で記入			同上	4	□	○		
終点側測点-n	(至) n+m nを4桁で記入			同上	4	□	○		
終点側測点-m	(至) n+m mを4桁で記入			同上	4	□	○		
起点側距離-n	(自) n+m nを3桁で記入			同上	3	□	○		
起点側距離-m	(自) n+m mを3桁で記入			同上	3	□	○		
終点側距離-n	(至) n+m nを3桁で記入			同上	3	□	○		
終点側距離-m	(至) n+m mを3桁で記入			同上	3	□	○		
西側境界座標経度	対象領域の最西端の座標を経度を表す座 (3桁) 分 (2桁) 秒 (2桁)			※	境界座標は、世界測地系に準拠する。その範囲は対象範囲を囲む矩形の領域を示し、西側及び東側の経度と北側及び南側の緯度を各々、度 (3桁) 分 (2桁) 秒 (2桁) で表される桁の数を記入する。 ※空欄とするが、座標管理が必要な工事は記入する。	同上	7	□	○
東側境界座標経度	対象領域の最東端の座標を経度を表す座 (3桁) 分 (2桁) 秒 (2桁)					同上	7	□	○
北側境界座標緯度	対象領域の最北端の座標を緯度を表す座 (3桁) 分 (2桁) 秒 (2桁)	同上	7			□	○		
南側境界座標緯度	対象領域の最南端の座標を緯度を表す座 (3桁) 分 (2桁) 秒 (2桁)	同上	7			□	○		
施設名称	施設名称を記入	○〇×丁目配水管	資糧名称を記入	全角文字 半角英数字	64	□	○		
発注者・大分類	発注者の首庁名、団体名などを記入 (CORINSの「発注者機関コード」の「中分類」に対応)	広島市	「広島市」と記入	同上	16	■	◎		
発注者・中分類	発注者の局名・支社名などを記入 (CORINSの「発注機関コード」の「小分類」に対応)	水道局	CORINSの「発注機関コード・小分類」より該当する名称を記入	同上	32	■	◎		
発注者・小分類	発注者の局名・支社名などを記入 (CORINSの「発注機関コード」の「細分類」に対応)	水道局	CORINSの「発注機関コード・細分類」より該当する名称を記入	同上	16	■	◎		
発注者コード	CORINSの「発注機関コード」に従って記入	41001012	「41001012」が水道局のコード番号	半角数字	8	■	◎		
n 請負者名	請負者の正式名称を記入 (CORINSの「請負会社名」に対応)	○〇建設株式会社		全角文字 半角英数字	127	■	◎		
m 請負者コード	発注者が定める請負者コードを記入	※	空欄	半角数字	127	□	○		
子 種	子種項目があれば記入 (複数記入可)	※	空欄	全角文字 半角英数字	127	□	△		
<p>全角文字と半角数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角数字2文字で全角文字1文字に相当する。表に示している文字数以内で記入する。</p> <p>【記入者】■：CORINSから出力されるファイルから取り込むことが可能な項目 □：電子媒体作成者 (請負者) が記入する項目</p> <p>【必要度】◎：必須記入 ○：条件付必須記入 (データが分かる場合は必ず記入する) △：任意記入、特記すべき事項があれば記入する</p>									
<p>➤ 工事管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用していくための属性項目である。</p> <p>➤ 工事管理項目のデータ表現の定義は、国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領 (案)」 (http://www.cals-ed.gov.jp/calsec/rule/const3.pdf) の使用文字に従う。</p>									

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現行		見直し		変更内容	
<p>(3) 写真管理項目</p> <p>電子媒体に格納する写真管理ファイル (PHOTO.XML) に記入する工事管理項目は次表に示すとおりである。</p>		<p>(2) 写真管理項目</p> <p>電子媒体に格納する写真管理ファイル (PHOTO.XML) に記入する工事管理項目は次表に示すとおりである。</p>			
表 4-2 写真管理項目					
項目例	記入内容	記入(出力)例	データ表現	文字数	記入者 必須度
写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称 (PHOTO/PICで固定する) を記入	<写真フォルダ名>PHOTO/PIC/<写真フォルダ名>	半角英大文字	127	▲ ◎
参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称 (PHOTO/DRAで固定) を記入する。	<参考図フォルダ名>PHOTO/DRA/<参考図フォルダ名>	半角英大文字	127	▲ ○
適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版を記入する。(分野:土木、西暦年:2004、月:06、版:01)	<適用要領基準>土木200406-01/<適用要領基準>	全角文字 半角英数字	30	▲ ◎
写真シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、申付けてもよい。123枚目の写真を「0000123」のように0を付けて記入してはいけない。	<シリアル番号>123/<シリアル番号>	半角数字	7	▲ ◎
写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	<写真ファイル名>P0000001.JPG/<写真ファイル名>	半角英大文字	12	▲ ◎
写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	<写真ファイル日本語名>施工状況00001.JPG/<写真ファイル日本語名>	全角文字 半角英数字	127	□ △
メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」となる。	<メディア番号>1/<メディア番号>	半角数字	8	□ ◎
写真一大分類	写真を撮影した業務の種類を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	<写真一大分類>工事/<写真一大分類>	全角文字 半角英数字	8	□ ◎
写真区分	工事関連写真撮影要領の分類に基づき、「工事状況写真」「出来形管理写真」「検収写真」「品質管理写真」「災害写真」「債務写真」の区分のいずれかを記入する。	<写真区分>工事状況写真/<写真区分>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル1「工事区分」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに「工種」「種別」の記入可否は異なる。	<工種>管布設工事100FENSELDCP/<工種>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
工種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル2「工種」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに「種別」「細別」の記入可否は異なる。	<種別>本管工/<種別>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル3「種別」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに記入可否は異なる。	<細別>作業土工/<細別>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
写真タイトル	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル4「細別」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに記入可否は異なる。	<写真タイトル>機械掘削/<写真タイトル>	全角文字 半角英数字	127	□ ◎
工種区分予備	撮影工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	<工種区分予備>掘削状況/<工種区分予備>	全角文字 半角英数字	127	□ △
参考図ファイル名	撮影位置、詳細図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面又は詳細図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	<参考図ファイル名>D0000001.JPG/<参考図ファイル名>	半角英大文字	12	▲ ◎
参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	<参考図ファイル日本語名>撮影位置図/<参考図ファイル日本語名>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面又は詳細図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	<参考図タイトル>管布設工事100FENSELDCP、断面/<参考図タイトル>	全角文字 半角英数字	127	□ ◎
付加情報予備	参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	<付加情報予備>参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する/<付加情報予備>	全角文字 半角英数字	127	□ △
撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を記入する。撮影位置図上に撮影機位置が記載されている場合には、撮影位置図上の記号等を記入する。	<撮影箇所>測点:断面1/<撮影箇所>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
撮影年月日	写真を撮影した年月日を「西暦の年数-〇〇月-〇〇日」で記入する。月又は日が1桁の場合は「0」を付加して、必ず10桁で記入する。月又は日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。例)平成16年11月1日-2004-12-01	<撮影年月日>20041201/<撮影年月日>	半角数字	10	□ ○
代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要な代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。	<代表写真>1/<代表写真>	半角数字	1	□ ○
施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の施工管理値を記入する。	<施工管理値>切斷幅:設計寸法600mm・実測寸法600mm/<施工管理値>	全角文字 半角英数字	127	□ ○
請負者説明文	請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。また、「施工管理値」を記入するにあたり、記入内容が規定の文字数を超える場合も、「請負者説明文」の項目に記入する。(複数記入可)	<請負者説明文>請負者側で特記すべき事項がある場合に記入する/<請負者説明文>	全角文字 半角英数字	127	▲ △
ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	<ソフトウェア用TAG>ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字	127	▲ △

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字を示しており、半角英数字2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】□: 電子成果品作成者が記入する項目
 ▲: 電子成果品ソフト等を使用する場合、作成ソフトが自動的に記入する項目。作成ソフトを使用しない場合は、電子成果品作成者が記入。
 【必要度】◎: 必須記入
 ○: 条件付必須記入 (データが分る場合は必ず記入する)
 △: 任意記入、特記すべき事項があれば記入する

■写真管理基準

項目名	記入内容	記入例	データ表現	文字数	記入者	必須度
写真フォルダ名	写真ファイルを格納するフォルダ名称 (PHOTO/PICで固定) を記入する。	PHOTO/PIC	半角英大文字	127	▲ ◎	
参考図フォルダ名	参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称 (PHOTO/DRAで固定) を記入する。	PHOTO/DRA	半角英大文字	127	▲ ○	
適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版を記入する。(分野:土木、西暦年:2004、月:06、版:01)	土木200405-01	全角文字 半角英数字	30	▲ ◎	
写真シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、申付けてもよい。123枚目の写真を「000123」の順に付けて記入してはいけない。	123	半角数字	7	▲ ◎	
写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	P0000001.JPG	半角英大文字	12	▲ ◎	
写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	施工状況00001.JPG	全角文字 半角英数字	127	□ △	
メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば全て「1」と記入する。	1	半角数字	8	□ ◎	
写真一大分類	写真を撮影した業務の種類を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	工事	全角文字 半角英数字	8	□ ◎	
写真区分	工事関連写真撮影要領の分類に基づき、「工事状況写真」「出来形管理写真」「検収写真」「品質管理写真」「災害写真」「債務写真」の区分のいずれかを記入する。	工事状況写真	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル1「工事区分」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに「工種」「種別」「細別」の記入可否は異なる。	管布設工事100mmGDLDCP	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
工種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル2「工種」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに「種別」「細別」の記入可否は異なる。	本管工	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル3「種別」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに「種別」「細別」の記入可否は異なる。	作業土工	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
写真タイトル	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば施工体系ツリー図のレベル4「細別」を記入する。施工体系ツリー図にない土木工事や他の工事の場合には、対応するレベルのものを正しく記入する。ただし、写真の分類ごとに記入可否は異なる。	機械掘削	全角文字 半角英数字	127	□ ◎	
工種区分予備	撮影工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	掘削状況	全角文字 半角英数字	127	□ △	
参考図ファイル名	撮影位置、詳細図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面又は詳細図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	D0000001.JPG	半角英大文字	12	▲ ◎	
参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	撮影位置図0001.JPG	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面又は詳細図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	管布設工事100mmGDLDCP、断面1	全角文字 半角英数字	127	□ ◎	
付加情報予備	参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する。	全角文字 半角英数字	127	□ △	
撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を記入する。撮影位置図上に撮影機位置が記載されている場合は、撮影位置図上の記号等を記入する。	測点:断面1	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
撮影年月日	写真を撮影した年月日を「西暦の年数-〇〇月-〇〇日」で記入する。月又は日が1桁の場合は「0」を付加して、必ず10桁で記入する。月又は日が1桁の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。例)平成16年11月1日-2004-12-01	2014-05-01	半角数字	10	□ ○	
代表写真	工事の全体概要や当該工事で重要な代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。	1	半角数字	1	□ ◎	
施工管理値	黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の施工管理値を記入する。	切斷幅:設計寸法600mm・実測寸法600mm	全角文字 半角英数字	127	□ ○	
請負者説明文	請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。また、「施工管理値」を記入するにあたり、記入内容が規定の文字数を超える場合も、「請負者説明文」の項目に記入する。(複数記入可)	検査者側で特記すべき事項がある場合に記入する。	全角文字 半角英数字	127	□ △	
ソフトウェア用TAG	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字	127	▲ △	

【記入者】□: 電子媒体作成者が記入する項目。
 ▲: 電子成果品作成ソフトウェアが自動的に記入する項目。
 【必要度】◎: 必須記入
 ○: 条件付必須記入 (データが分る場合は必ず入力する)
 △: 任意記入、特記すべき事項があれば記入する。
 ※ 複数ある場合はこの順番を必要回数繰り返す。

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容																																				
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 写真管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用していくための属性項目である。 ➢ 写真管理項目のデータ表現の定義は、国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領（案）」（http://www.cals-ed.go.jp/caisec/rule/const3.pdf）の使用文字に従う。 ➢ 「代表写真」の項目には、当該工事の概要が把握できる、または重要な写真である場合に「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。 ➢ 付属資料1に写真管理ファイルのXML記入例を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 写真管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用していくための属性項目である。 ➢ 写真管理項目のデータ表現の定義は、国土交通省の「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び「工事完成図書の電子納品要領(案)」の使用文字に従う。 ➢ 「代表写真」の項目には、当該工事の概要が把握できる、又は重要な写真である場合に「1」を記入する。代表写真でない場合は「0」を記入する。 ➢ 付属資料1に「写真管理ファイルの DTD」、「写真管理ファイルのXML」の記入例を示す。 ➢ 写真区分ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真区分ごとの記入可否の目安は、以下のとおりである。 <table border="1" data-bbox="1115 526 1803 774"> <thead> <tr> <th>写 真 区 分</th> <th>工 種</th> <th>種 別</th> <th>細 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前及び完成写真</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>工事状況写真</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>安全管理写真</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>出来形管理写真</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>検収写真</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>品質管理写真</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>災害写真</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>償務写真</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>(○：記入、△：可能な場合は記入、×：記入不要(任意記入は可))</p>	写 真 区 分	工 種	種 別	細 別	着工前及び完成写真	○	○	×	工事状況写真	○	○	○	安全管理写真	△	△	△	出来形管理写真	○	○	○	検収写真	△	△	△	品質管理写真	△	△	△	災害写真	×	×	×	償務写真	×	×	×	<p>要領の追記 http の削除</p> <p>記入方法の変更 写真管理ファイル DTD の追記 記入付加目安追記</p>
写 真 区 分	工 種	種 別	細 別																																			
着工前及び完成写真	○	○	×																																			
工事状況写真	○	○	○																																			
安全管理写真	△	△	△																																			
出来形管理写真	○	○	○																																			
検収写真	△	△	△																																			
品質管理写真	△	△	△																																			
災害写真	×	×	×																																			
償務写真	×	×	×																																			
<p>5 写真編集等 写真の信憑性を考慮し、原則として写真編集は認めない。ただし、監督員の承諾を得た場合は、回転、パノラマ、全体の明るさの補正程度は認めることとする。</p> <p>6 有効画素数 有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。 ➢ 有効画素数は、黒板の文字及び撮影対象が確認できることを指標（100万画素程度）として設定する。 ➢ 不要に有効画素数を大きくすると、ファイル容量が大きくなり、電子媒体が複数枚になるとともに、操作性も低くなるので、適切な有効画素数を設定する。</p> <p>7 撮影頻度と提出頻度の取り扱い 写真の原本を電子媒体で提出する場合は、工事記録写真撮影要領に示される撮影頻度に基づくものとする。</p>	<p>6 写真編集の禁止 工事記録写真及び現地等の写真を納品する場合において、撮影したデジタル写真の編集は、信憑性を考慮し、一切禁止する。明度調整やトリミングなど、軽微なものについても写真編集は認めない。</p> <p>7 有効画素数 有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。 ➢ 有効画素数は、黒板の文字及び撮影対象が確認できることを指標（100万画素程度）として設定する。 ➢ 不要に有効画素数を大きくすると、ファイル容量が大きくなり、電子媒体が複数枚になるとともに、操作性も低くなるので、適切な有効画素数を設定する。</p> <p>8 撮影頻度と提出頻度の取り扱い 写真の原本を電子媒体で提出する場合は、工事記録写真撮影要領に示される撮影頻度に基づくものとする。</p>	<p>写真編集の全面禁止の追記 表現の修正</p>																																				

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
<p>8 その他留意事項</p> <p>本基準に記載されていない電子納品に関わる事項は、原則として国土交通省の「工事完成図書の電子納品要領（案）」(http://www.cals-ed.go.jp/calsec/rule/const3.pdf)に従う。</p> <p>電子納品に関する資料等は、下記のURLから入手することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【広島市電子納品の手引き】</p> <p>http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/1198201041853/html/common/other/4a402686341.pdf</p> <p>【国土交通省電子納品要領等】</p> <p>http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm</p> <p>http://www.mlit.go.jp/gobuild/ki_jun_cals_cals.htm</p> <p>【参考情報の入手先】</p> <p>(財) 日本建設情報総合センター (http://www.jacic.or.jp/)</p> <p>(社) 日本土木工業協会 (http://www.dokokyo.or.jp/)</p> </div>	<p style="color: red; text-align: center;">=削除=</p>	

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
	<p style="text-align: center;"><付属資料1> 写真管理ファイルのDTD記入例</p> <p>写真管理ファイルのDTD</p> <p>成製品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO, XML)のDTD (PHOTO05, DTD)を以下に示す。なお、DTDファイルは、国土交通省のホームページ (http://www.cals-ed.go.jp/) から入手できる。</p> <p><!--PHOTO05, DTD/2008/05--> <ELEMENT photodata (基礎情報, 写真情報+, ソフトメカ用TAG+)> <ATTLIST photodata DTD_version CDATA #FIXED "05"></p> <p><!-- 基礎情報 --> <ELEMENT 基礎情報(写真フォルダ名, 参考図フォルダ名?, 適用要領基準)> <ELEMENT 写真フォルダ名(#PCDATA)> <ELEMENT 参考図フォルダ名(#PCDATA)> <ELEMENT 適用要領基準(#PCDATA)></p> <p><!-- 写真情報 --> <ELEMENT 写真情報(写真ファイル情報, 撮影工程区分, 付加情報+, 撮影情報, 代表写真, 提出頻度写真, 施工管理値?, 請負者説明文?)> <ELEMENT 代表写真(#PCDATA)> <ELEMENT 提出頻度写真(#PCDATA)> <ELEMENT 施工管理値(#PCDATA)> <ELEMENT 請負者説明文(#PCDATA)></p> <p><!-- 写真ファイル情報 --> <ELEMENT 写真ファイル情報(シリアル番号, 写真ファイル名, 写真ファイル日本語名?, メディア番号)> <ELEMENT シリアル番号(#PCDATA)> <ELEMENT 写真ファイル名(#PCDATA)> <ELEMENT 写真ファイル日本語名(#PCDATA)> <ELEMENT メディア番号(#PCDATA)></p> <p><!-- 撮影工程区分 --> <ELEMENT 撮影工程区分(写真-大分類, 写真区分?, 工程?, 細別?, 写真タイトル, 工程区分予備*)> <ELEMENT 写真-大分類(#PCDATA)> <ELEMENT 写真区分(#PCDATA)> <ELEMENT 工程(#PCDATA)> <ELEMENT 細別(#PCDATA)> <ELEMENT 写真タイトル(#PCDATA)> <ELEMENT 工程区分予備(#PCDATA)></p> <p><!-- 付加情報 --> <ELEMENT 付加情報(参考図ファイル名, 参考図ファイル日本語名?, 参考図タイトル, 付加情報予備*)> <ELEMENT 参考図ファイル名(#PCDATA)> <ELEMENT 参考図ファイル日本語名(#PCDATA)> <ELEMENT 参考図タイトル(#PCDATA)> <ELEMENT 付加情報予備(#PCDATA)></p> <p><!-- 撮影情報 --> <ELEMENT 撮影情報(撮影箇所?, 撮影年月日)> <ELEMENT 撮影箇所(#PCDATA)> <ELEMENT 撮影年月日(#PCDATA)></p> <p><ELEMENT ソフトメカ用TAG(#PCDATA)></p>	<p>写真管理ファイルのDTD記入例の記載</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
	<p>PHOTO05. DTDの構造図</p> <p>上から順に記述することを示す。 1 : 必ず1回記述する。 ? : 記述は任意、記述する場合は1回に限る。 + : 必ず、1回以上記述する。 * : 記述は任意、複数の記述を認める。</p> <p>photodata 1</p> <p>DTD_version 1</p> <p>基礎情報 1</p> <p>写真フォルダ名 1 #PCDATA</p> <p>参考図フォルダ名 ? #PCDATA</p> <p>適用規格基準 1 #PCDATA</p> <p>写真情報 +</p> <p>写真ファイル情報 1</p> <p>シリアル番号 1 #PCDATA</p> <p>写真ファイル名 1 #PCDATA</p> <p>写真ファイル日本語名 ? #PCDATA</p> <p>メディア番号 1 #PCDATA</p> <p>撮影工程区分 1</p> <p>写真-大分類 1 #PCDATA</p> <p>写真区分 ? #PCDATA</p> <p>工種 ? #PCDATA</p> <p>種別 ? #PCDATA</p> <p>細別 ? #PCDATA</p> <p>写真タイトル 1 #PCDATA</p> <p>工程区分予備 * #PCDATA</p> <p>付加情報 +</p> <p>参考図ファイル名 1 #PCDATA</p> <p>参考図ファイル日本語名 ? #PCDATA</p> <p>参考図タイトル 1 #PCDATA</p> <p>付加情報予備 * #PCDATA</p> <p>撮影情報 1</p> <p>撮影箇所 ? #PCDATA</p> <p>撮影年月日 1 #PCDATA</p> <p>代表写真 1 #PCDATA</p> <p>提出頻度写真 1 #PCDATA</p> <p>施工管理図 ? #PCDATA</p> <p>請負者説明文 ? #PCDATA</p> <p>ソフトウェア用TAG * #PCDATA</p>	<p>PHOTO05.DTDの構造図の追記</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
<p><付属資料 1> 写真管理ファイルのXML記入例</p> <pre> <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO03.DTD"> <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO03.XSL" ?> <photodata DTD_version="03"> <基礎情報> <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名> <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名> <適用要領基準>土木200406-01</適用要領基準> </基礎情報> <写真情報> <写真ファイル情報> <シリアル番号>1</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名> <写真ファイル日本語名>施工状況.JPG</写真ファイル日本語名> <メディア番号>1</メディア番号> </写真ファイル情報> <撮影工程区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> <写真区分>工事状況写真</写真区分> <工程>管布設工事100耗NSLDCP</工程> <種別>本管工</種別> <細別>作業土工</細別> <写真タイトル>機械掘削</写真タイトル> <工程区分予備1>掘削状況</工程区分予備1> <工程区分予備2></工程区分予備2> <工程区分予備3></工程区分予備3> </撮影工程区分> <付加情報> <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名>撮影位置図00001.JPG</参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル>管布設工事100耗NSLDCP、断面1</参考図タイトル> <付加情報予備></付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:断面1</撮影箇所> <撮影年月日>20041201</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <施工管理値></施工管理値> <請負者説明文></請負者説明文> </写真情報> <写真ファイル情報> <シリアル番号>2</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000002.JPG</写真ファイル名> <メディア番号>1</メディア番号> </写真ファイル情報> <撮影工程区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> <写真区分>工事状況写真</写真区分> <工程>管布設工事100耗NSLDCP</工程> <種別>本管工</種別> <細別>舗装工</細別> <写真タイトル>舗装切断</写真タイトル> <工程区分予備1>切断幅測定</工程区分予備1> <工程区分予備2></工程区分予備2> <工程区分予備3></工程区分予備3> </撮影工程区分> <付加情報> <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名>撮影位置図00001.JPG</参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル>管布設工事100耗NSLDCP、断面1</参考図タイトル> <付加情報予備></付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:断面1</撮影箇所> <撮影年月日>20041201</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <施工管理値>切断幅:設計寸法600mm:実測寸法600mm</施工管理値> <請負者説明文></請負者説明文> </写真情報> </ソフトメカ用TAG></ソフトメカ用TAG> </photodata> </pre>	<p><付属資料 2> 写真管理ファイルのXML記入例</p> <p>写真管理ファイルのXML記入例</p> <p>成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO、XML)の記入例を以下に示す。 なお、DTDファイルは、国土交通省のホームページ(http://www.cals-ed.go.jp/)から入手できる。</p> <pre> <?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO05.DTD"> <?xml-stylesheet type="text/xsl" href="PHOTO05.XSL" ?> <photodata DTD_version="05"> <基礎情報> <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名> <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名> <適用要領基準>土木200805-01</適用要領基準> </基礎情報> <写真情報> <写真ファイル情報> <シリアル番号>1</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名> <写真ファイル日本語名>着工前00001.JPG</写真ファイル日本語名> <メディア番号>1</メディア番号> </写真ファイル情報> <撮影工程区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> <写真区分>工事状況写真</写真区分> <工程>管布設工事</工程> <種別>本管工</種別> <細別></細別> <写真タイトル>着工前</写真タイトル> <工程区分予備>撮影工程区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</工程区分予備> </撮影工程区分> <付加情報> <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名>撮影位置図0000001.JPG</参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル>管布設工事100mmGXLDPC断面1</参考図タイトル> <付加情報予備>参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:断面1</撮影箇所> <撮影年月日>2014-06-01</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <提出頻度写真>1</提出頻度写真> <施工管理値></施工管理値> <請負者説明文>発注者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文> </写真情報> <写真ファイル情報> <写真ファイル情報> <シリアル番号>2</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000002.JPG</写真ファイル名> <写真ファイル日本語名>吊込据付状況写真00002.JPG</写真ファイル日本語名> <メディア番号>1</メディア番号> </写真ファイル情報> <撮影工程区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> </pre> <p>3行目(「?xml-stylesheet」)は、XML文章の書式(体裁)を指定する場合の宣言文。 書式指定を宣言した場合、XMLファイルを格納すること。 スタイルシートを利用しない場合は、当該1行目を削除して下さい。</p>	<p>記入例の差し替え</p>

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
	<p> <写真区分>工事状況写真</写真区分> <工種>管布設工事</工種> <種別>本管工</種別> <細別>管据付</細別> <写真タイトル>管吊込据付状況</写真タイトル> <工種区分予備>撮影工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</工種区分予備> </撮影工種区分> <付加情報> <参考図ファイル名></参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名></参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル></参考図タイトル> <付加情報予備></付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:断面1</撮影箇所> <撮影年月日>2014-06-10</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <提出頻度写真>1</提出頻度写真> <施工管理値></施工管理値> <請負者説明文>発注者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文> </写真情報> <写真情報> <写真ファイル情報> <シリアル番号>3</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000003.JPG</写真ファイル名> <写真ファイル日本語名>安全管理状況写真00003.JPG</写真ファイル日本語名> <メディア番号>1</メディア番号> </写真ファイル情報> <撮影工種区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> <写真区分>工事状況写真</写真区分> <工種>管布設工事</工種> <種別>本管工</種別> <細別>安全管理</細別> <写真タイトル>交通管理状況</写真タイトル> <工種区分予備>撮影工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</工種区分予備> </撮影工種区分> <付加情報> <参考図ファイル名></参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名></参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル></参考図タイトル> <付加情報予備></付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:断面1</撮影箇所> <撮影年月日>2014-06-10</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <提出頻度写真>1</提出頻度写真> <施工管理値></施工管理値> <請負者説明文>発注者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文> </写真情報> <写真情報> <写真ファイル情報> </p>	記入例の差し替え

デジタル写真管理情報基準新旧対照表

現 行	見直し	変更内容
	<p> <シリアル番号>4</シリアル番号> <写真ファイル名>P0000004.JPG</写真ファイル名> <写真ファイル日本語名>路盤工00004.JPG</写真ファイル日本語名> <メディア番号>1</メディア番号> <写真ファイル情報> <撮影工種区分> <写真-大分類>工事</写真-大分類> <写真区分>出来高管理写真</写真区分> <工種>管布設工事</工種> <種別>本管工</種別> <細別>管据付</細別> <写真タイトル>路盤工</写真タイトル> <工種区分予備>撮影工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</工種区分予備> </撮影工種区分> <付加情報> <参考図ファイル名>D0000002.JPG</参考図ファイル名> <参考図ファイル日本語名>舗装復旧図0000002.JPG</参考図ファイル日本語名> <参考図タイトル>舗装復旧図</参考図タイトル> <付加情報予備>参考図、撮影箇所に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)</付加情報予備> </付加情報> <撮影情報> <撮影箇所>測点:新面1</撮影箇所> <撮影年月日>2014-06-10</撮影年月日> </撮影情報> <代表写真>1</代表写真> <提出顔度写真>1</提出顔度写真> <施工管理値>路盤工(上層路盤・再生粒度調整砕石):設計路盤厚t=16cm、実測路盤厚t=16cm</施工管理値> <請負者説明文>発注者側で検査立会者、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文> </写真情報> <ソフトウェア用TAG>ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)</ソフトウェア用TAG> </p>	記入例の差し替え